

種彦諸國物語

近江の  
巻前帙上

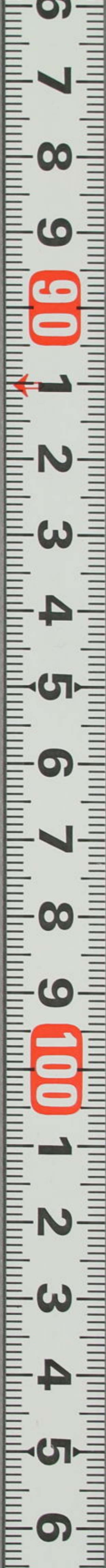
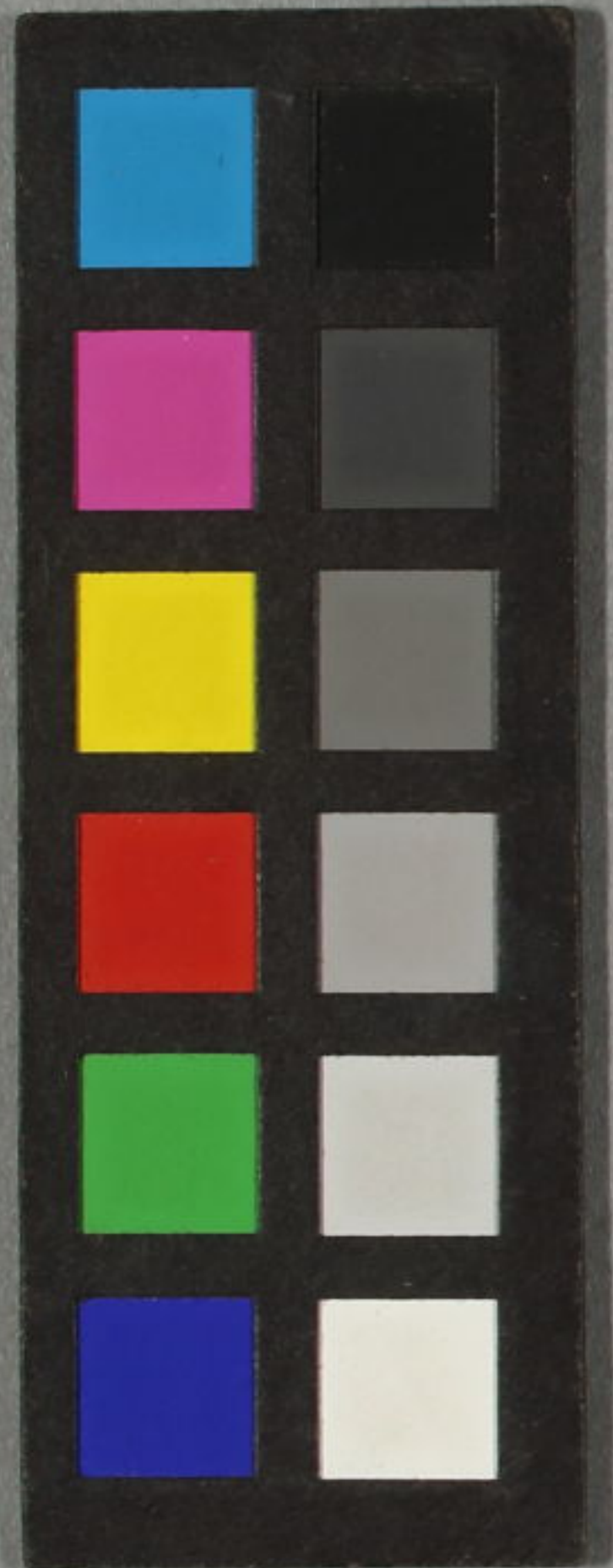


孟陽

國貞

Gokan: ( )  
Shokoku  
Vol: 1-1  
Part: 1

~ 13  
3760  
1



門 へ13  
3760  
天 1  
巻

彫新春午甲午五保

柳亭種彦作



歌川國貞画

國 耶 鄂 諸  
物 語

近江の巻

前帙上

芳町角

山本平吉梓

是繪冊子へ西鶴諸國なる一一名大下馬其積諸國物語等ふるひて作

いぞいぞあれ種彦諸國物語とよびるさんと思ひ一が愚名と標題

あわらとせんも徑延く取こころ無實無夢物語との意あそ耶鄂の

手説いる近江の巻ハ狂賊筆策と吹の話あそ耳食録

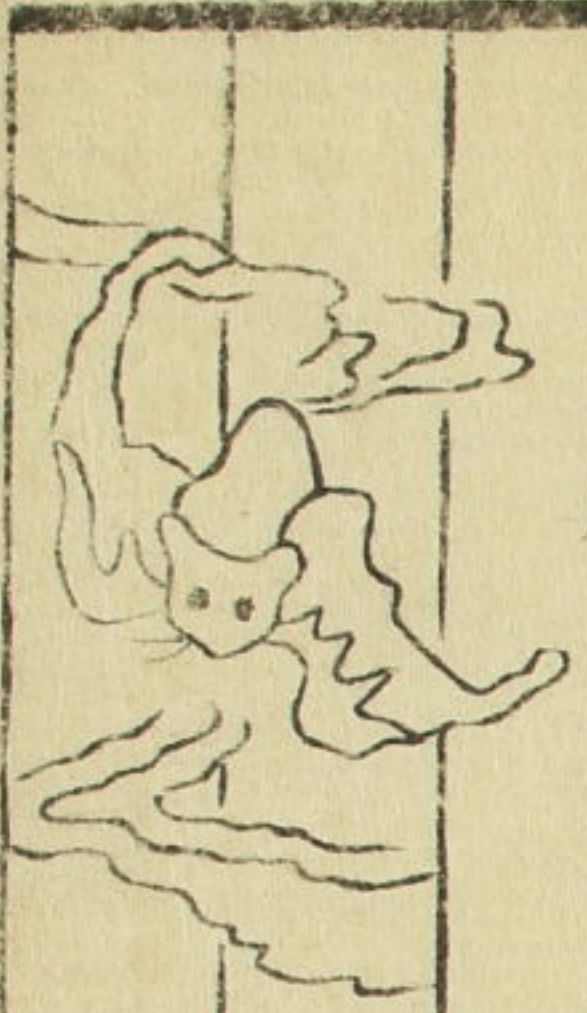
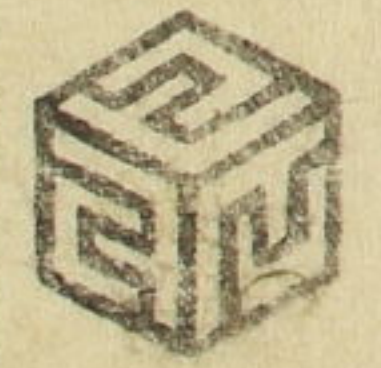
小事ありあつとこと更ふそれを翻へ一善人あやまらなく懸想

ごちの夫婦とあり最愛たき草紙して是ふ出羽の巻を附前帙

後帙八冊あそ二箇國の語全く終ま

天保五年甲午開端

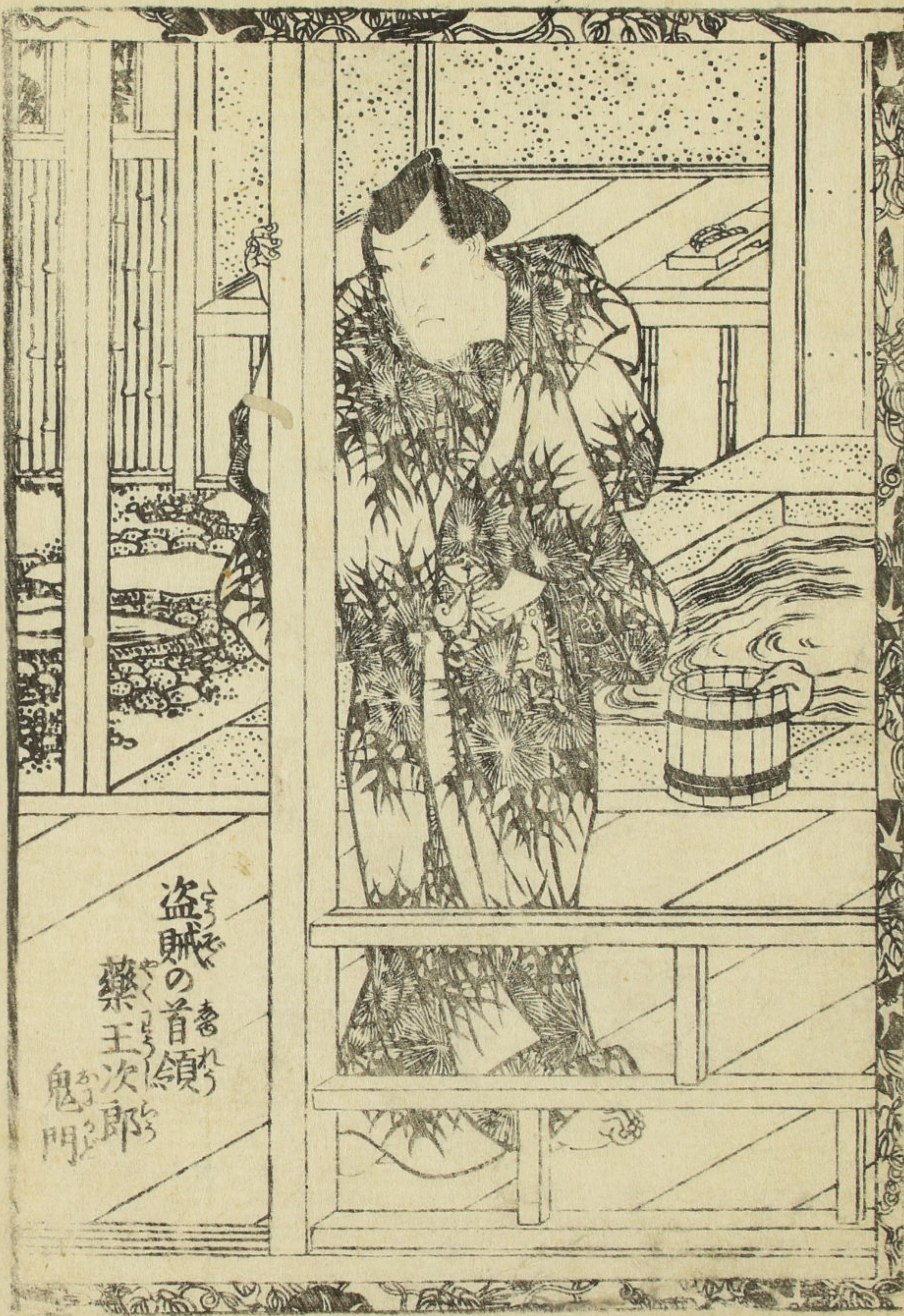
柳亭種彦



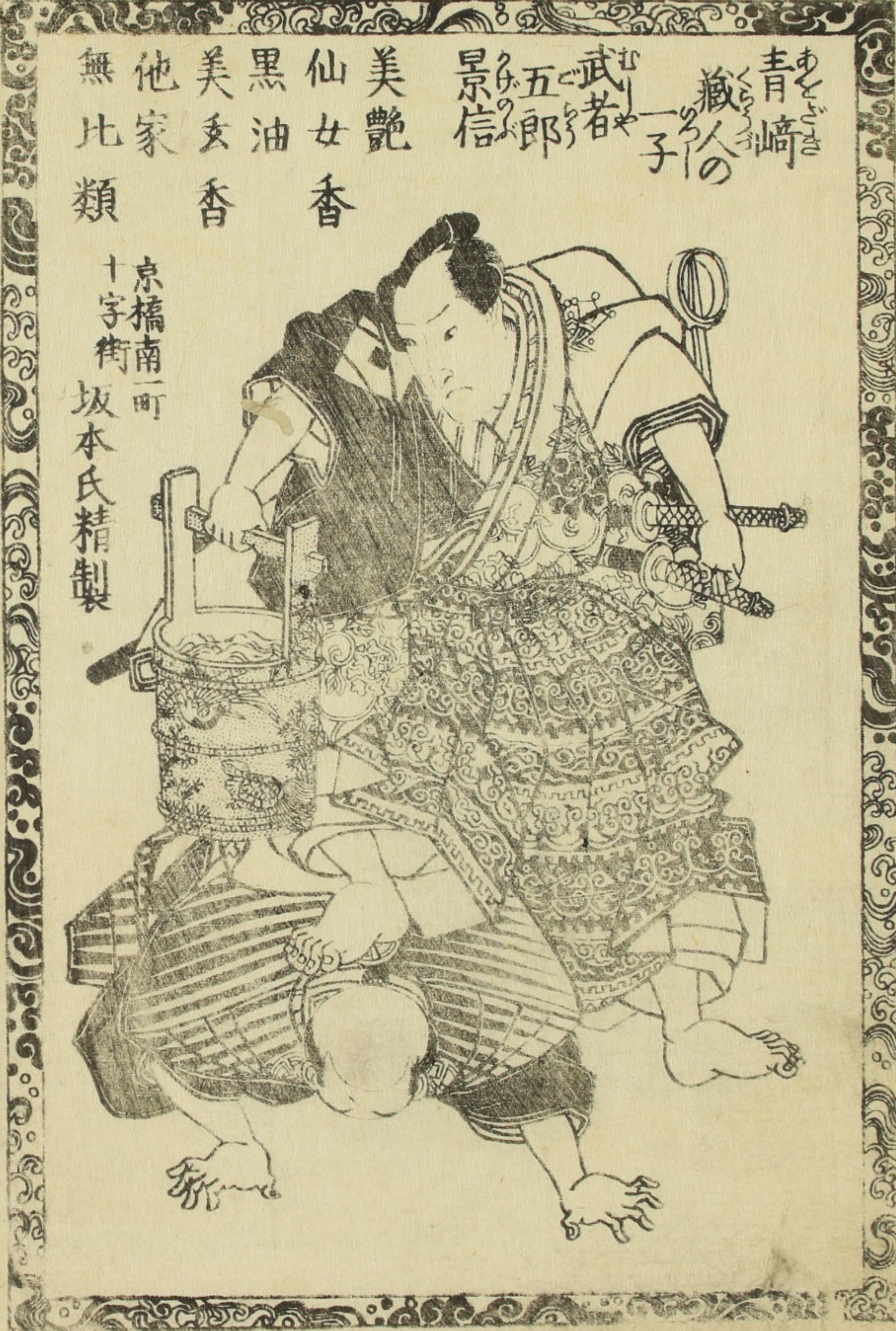
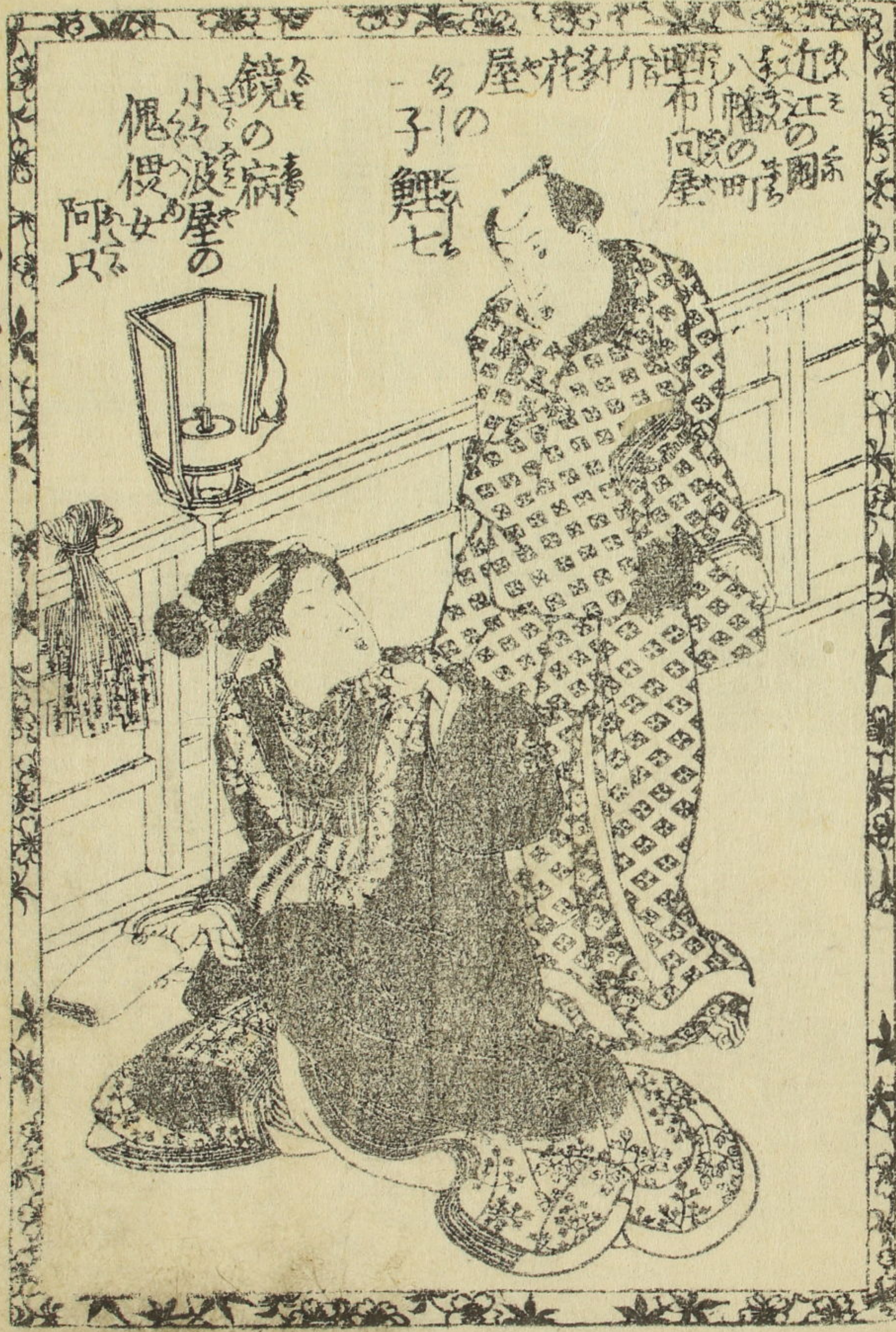
下 下 下



東之  
近江の  
鏡の  
病  
旅舎の  
娘阿  
加奈



盗賊の  
首領  
薬王  
次郎  
鬼門



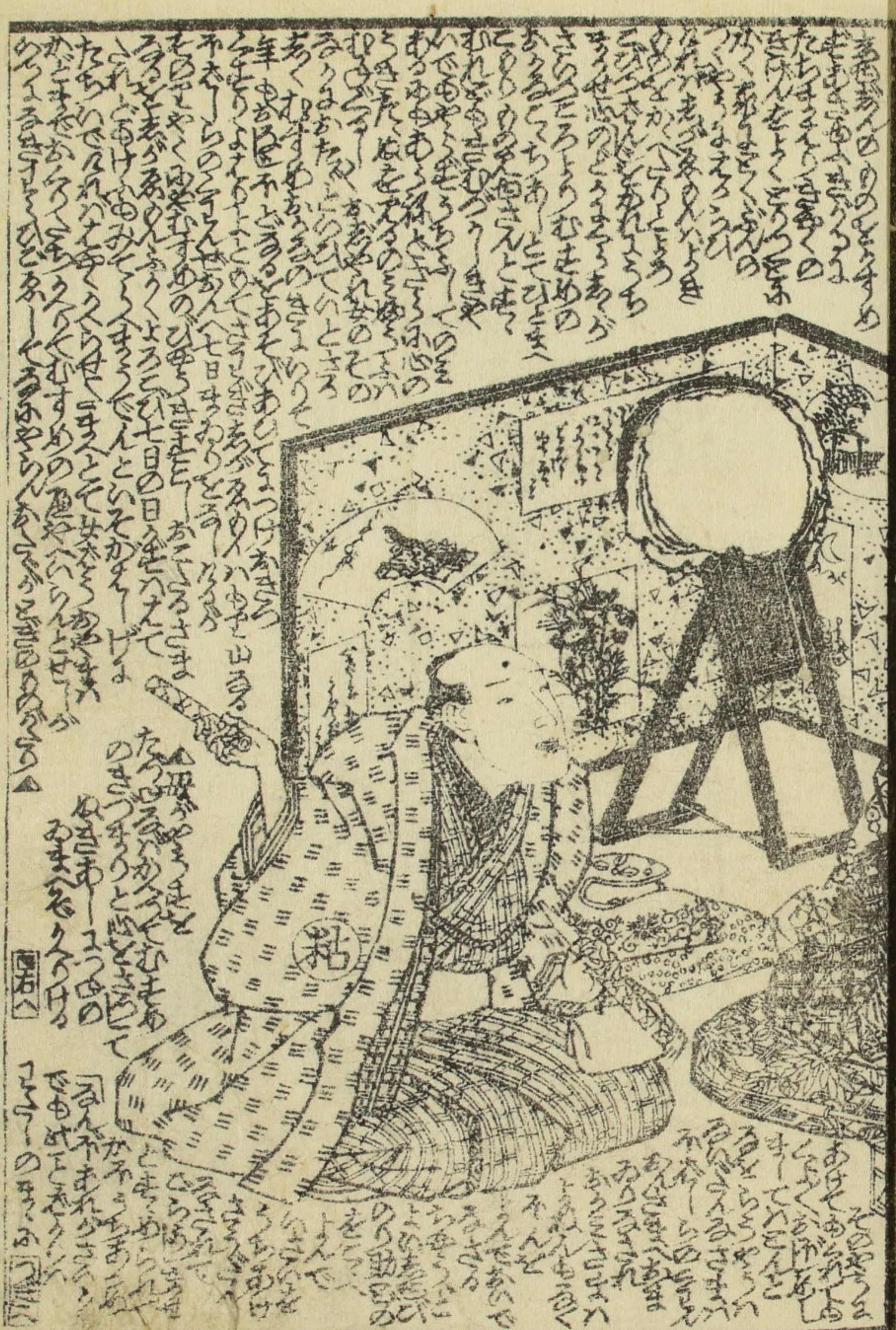
甘單





甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた...

甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた...



甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた...

甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた... 甘藷のつくりかた...







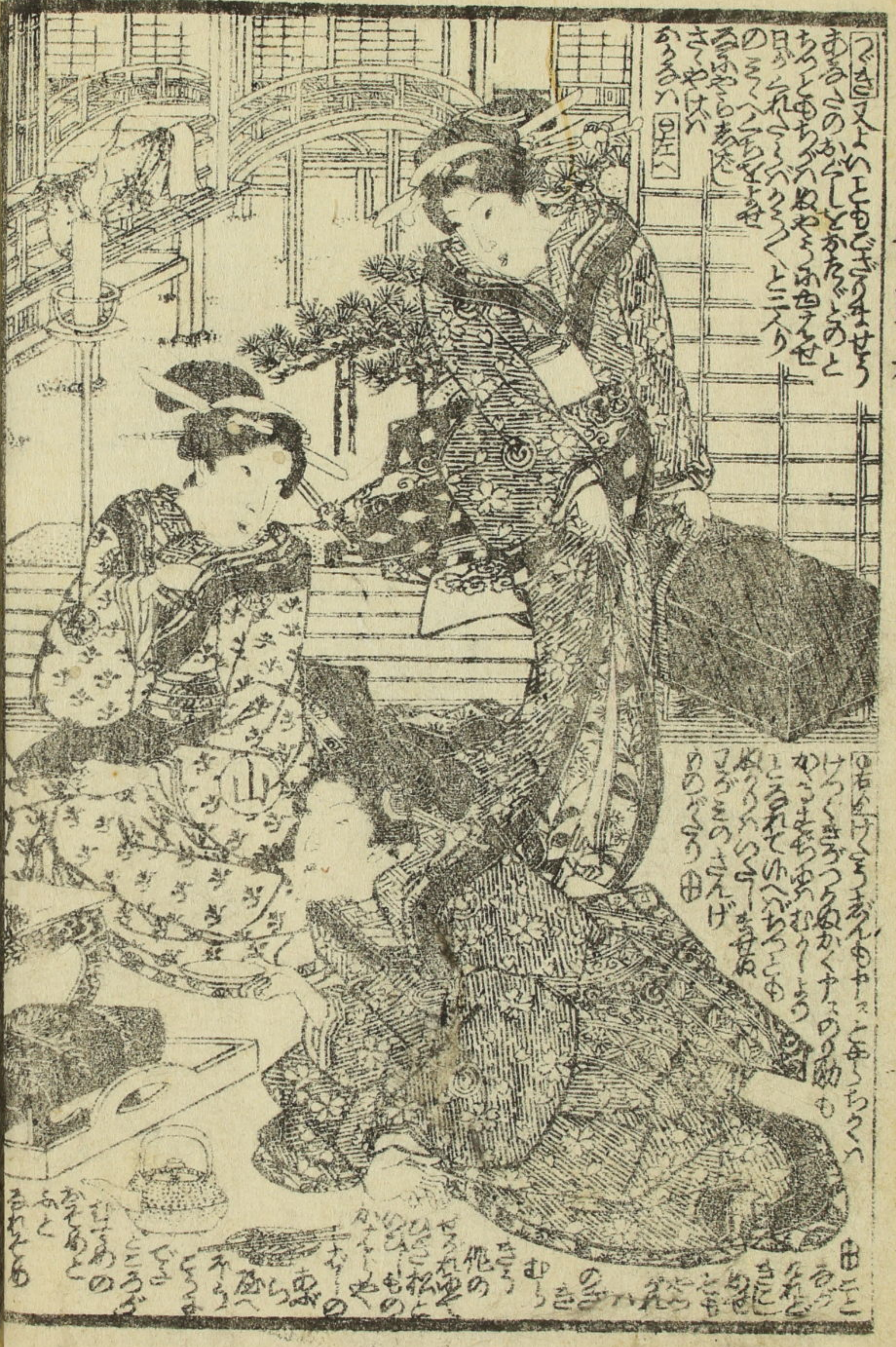


あつちの甲のうけがのせ  
そこのうけがのせがのせ  
まろはの目までえぬと回右

下郎切

あつちの甲のうけがのせ  
そこのうけがのせがのせ  
まろはの目までえぬと回右

あつちの甲のうけがのせ  
そこのうけがのせがのせ  
まろはの目までえぬと回右

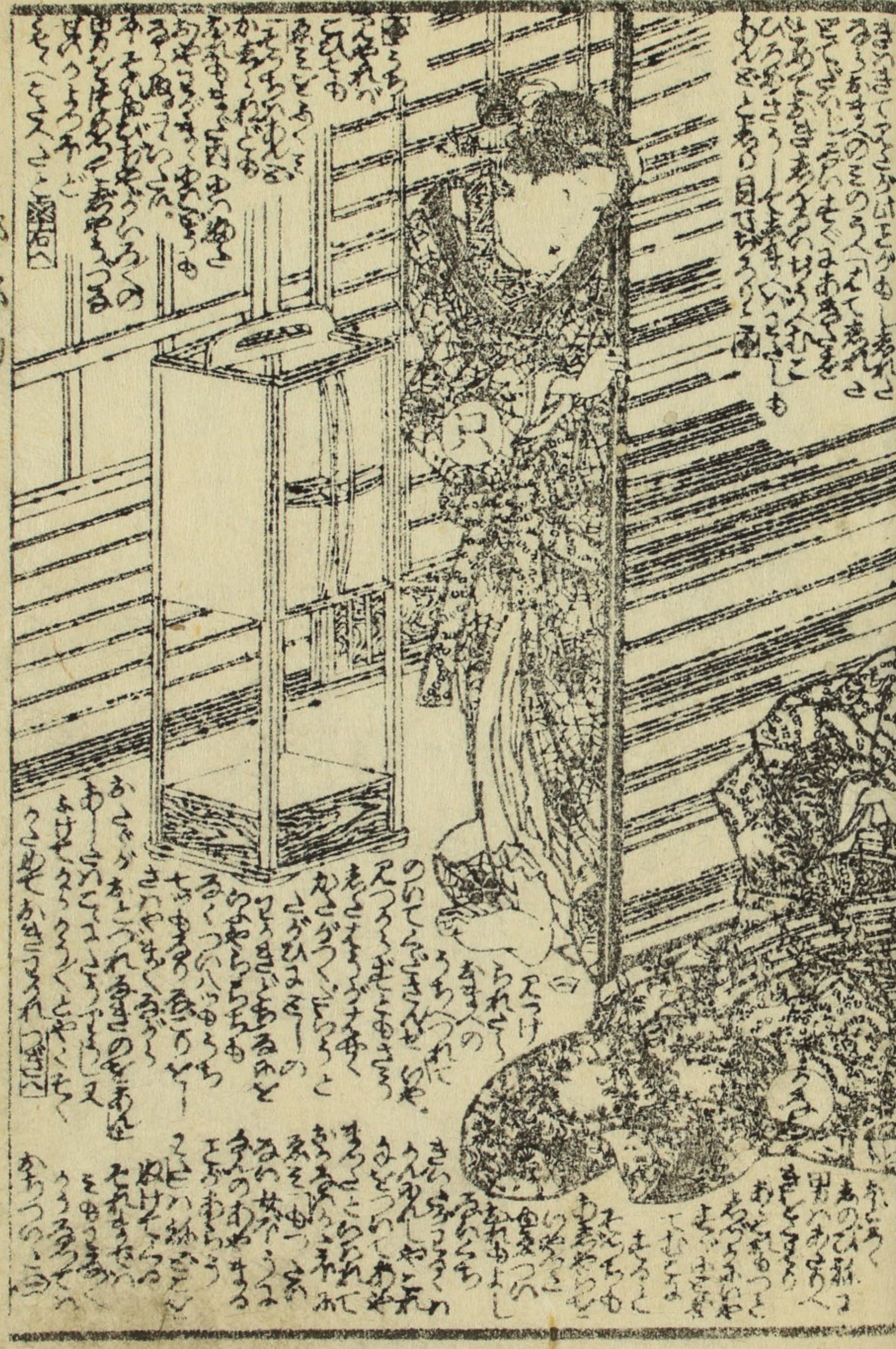


あつちの甲のうけがのせ  
そこのうけがのせがのせ  
まろはの目までえぬと回右

下郎切

あつちの甲のうけがのせ  
そこのうけがのせがのせ  
まろはの目までえぬと回右





あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき

あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき

あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき

あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき

あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき

あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき  
あつたき



榮久堂藏新版新舊稗史目錄

江戸勸進大角力  
相撲起顯  
八輯  
九輯

永花百人首文十抄  
全

菊壽百人首文十抄  
全

御家  
正流  
子供案文  
全

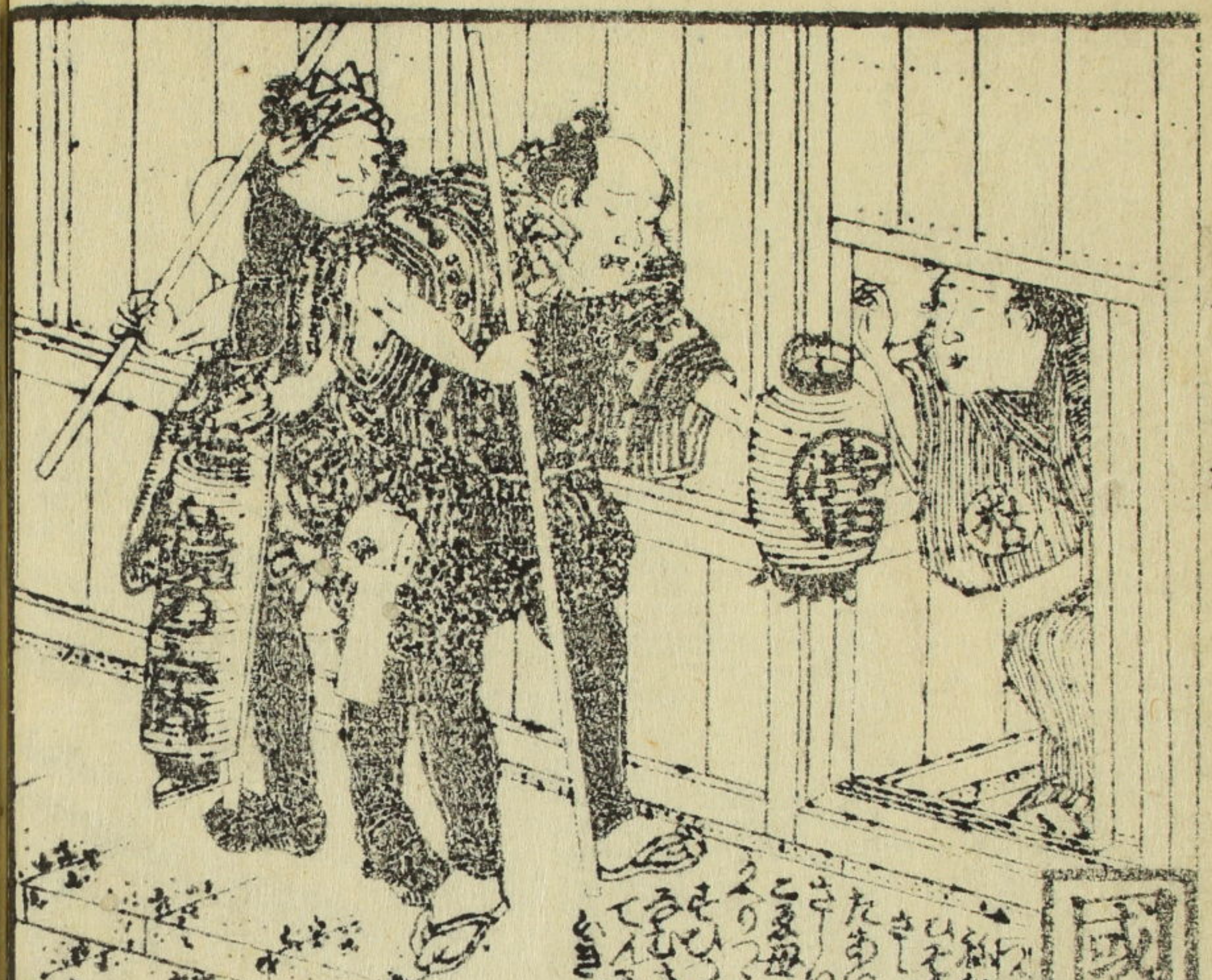
繪入  
講釈  
實語教雅繪解  
全

江戸初編ハ相撲の古方とあり安永より寛政中頃の  
書附とのせり亦二編より三編は寛政中頃の  
より三編より大角力書附并時天十日勝負付二編より  
一編より大角力書附并時天十日勝負付二編より  
四編より大角力書附并時天十日勝負付二編より

御訛染逢山鹿子  
六編揃

源氏六十四帖  
全

但六十四枚揃  
全



國貞画種彦作

此の書は、國貞の画種彦作によるもので、江戸の風俗や人情を写し出した。特に、相撲や遊樂の場面が多く描かれており、当時の生活様式がよくわかる。また、人物の表情や動作も細かく描かれており、非常にリアルな印象を与える。この書は、江戸文化の重要な遺産として、多くの人々に愛読されている。

書肆

江戸より町おやりの橋角

山本平吉梓

程名法漫初語

近江  
卷前

袴  
五  
袴  
五

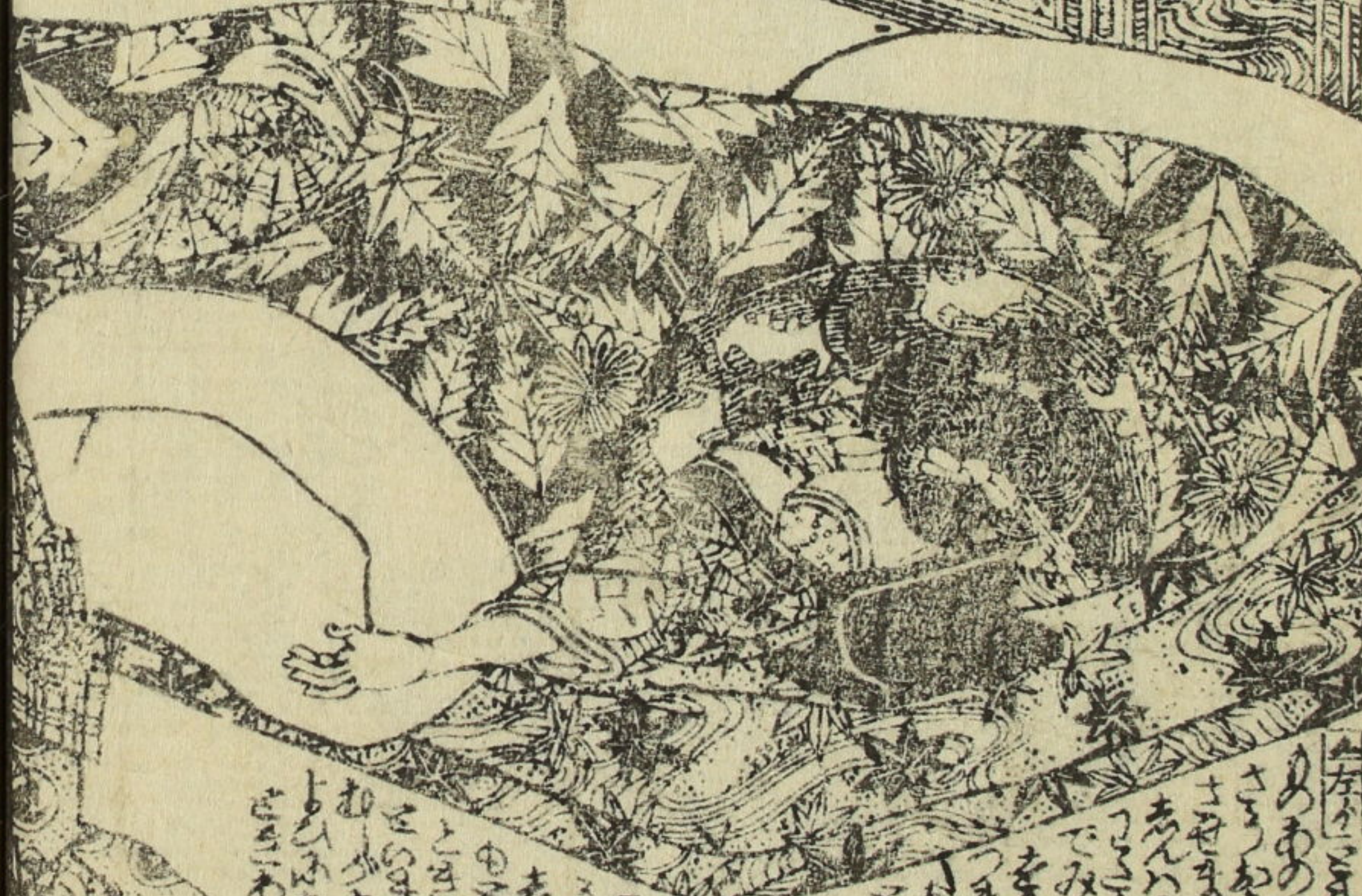
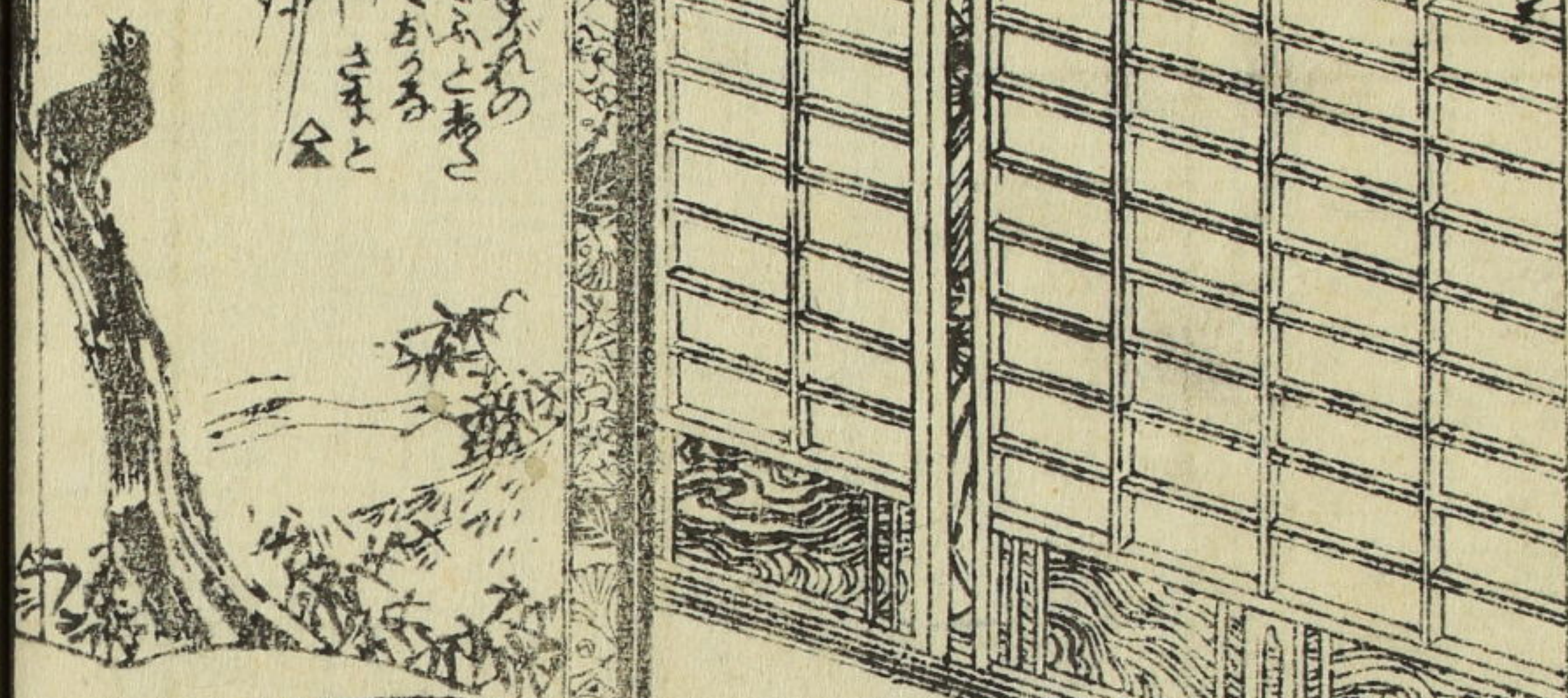




あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて

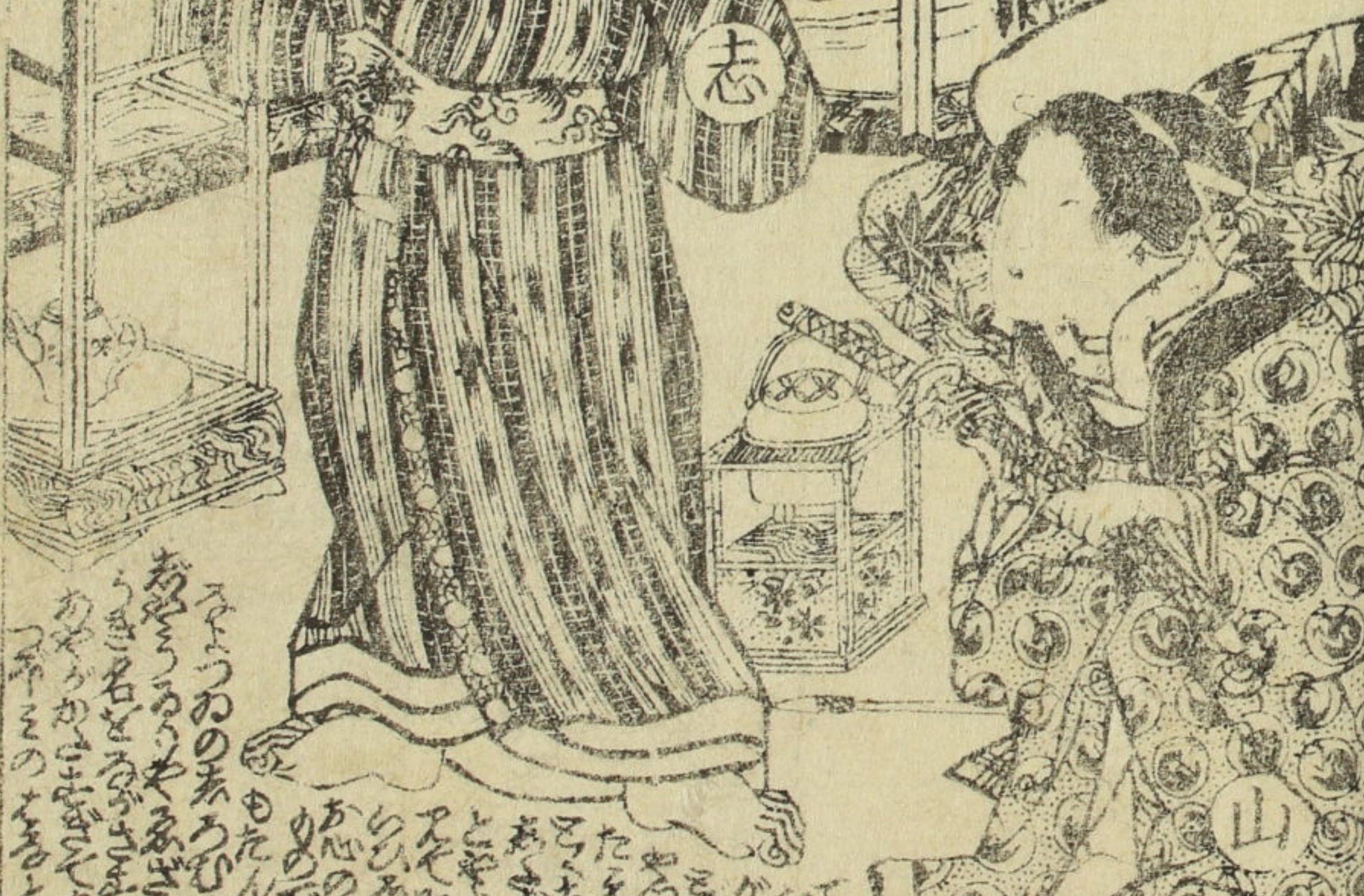
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて

あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて



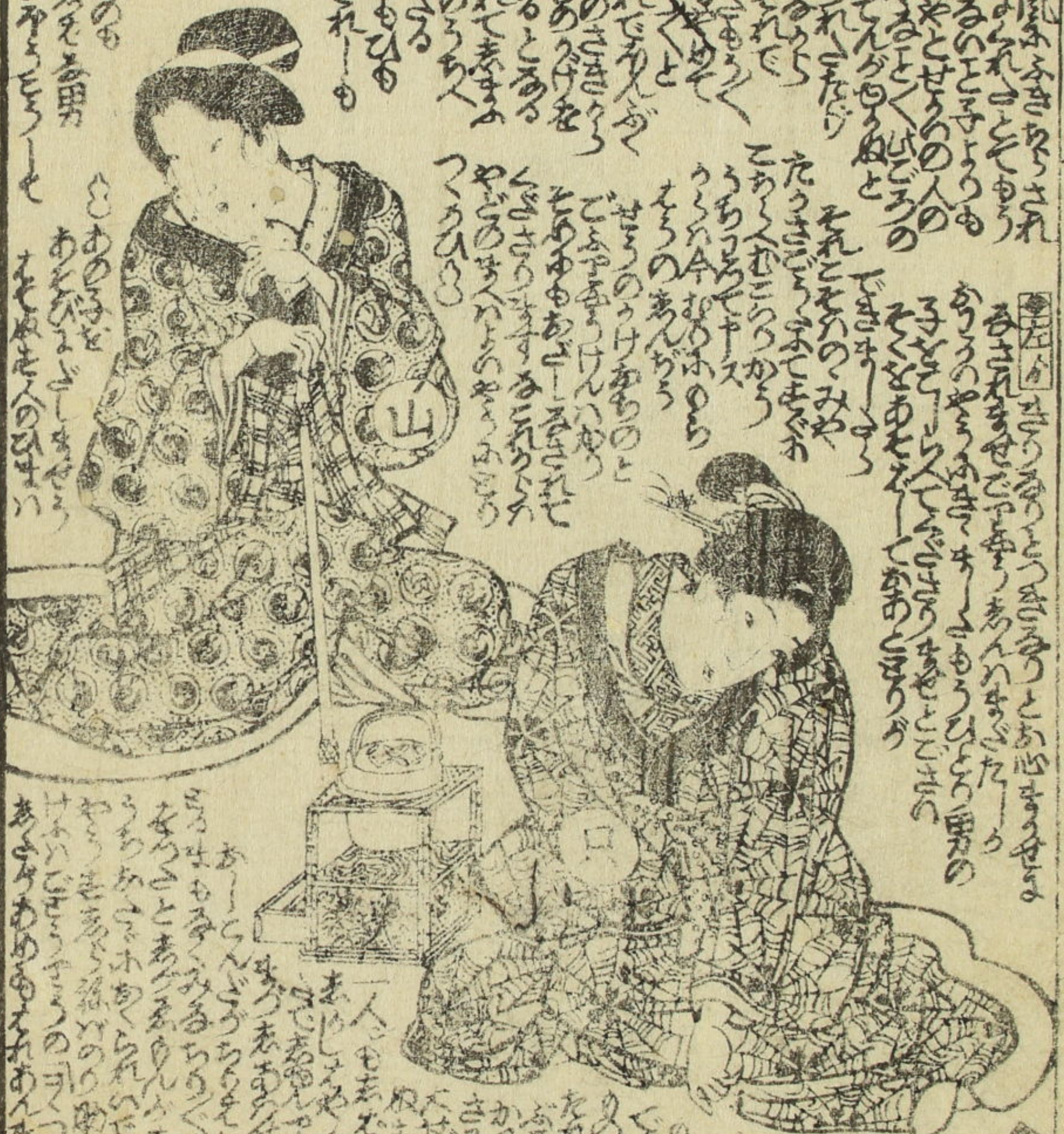
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて

あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて



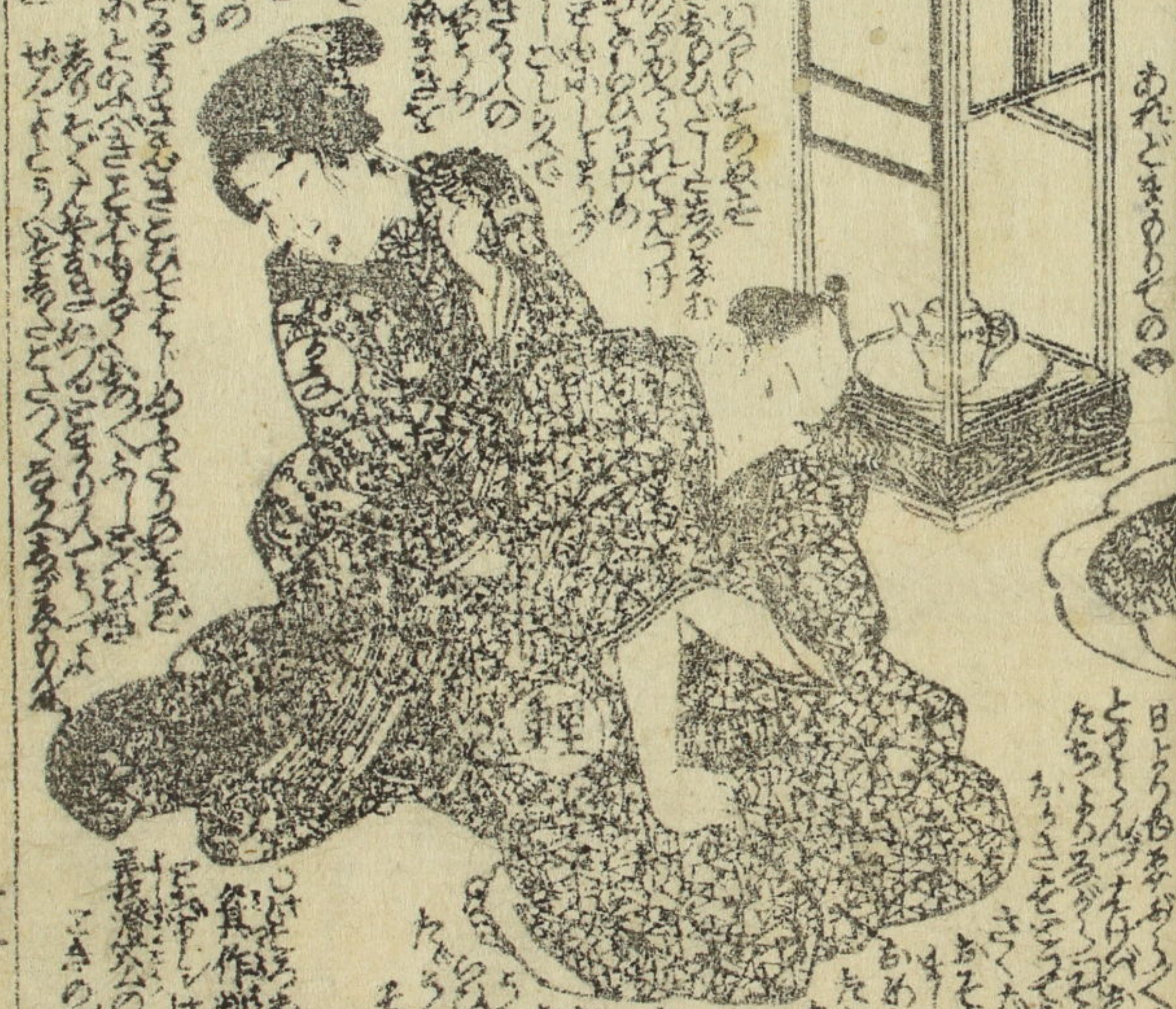
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて  
あつたてのあつたて

左の山は...  
 右の山は...  
 山  
 山  
 山



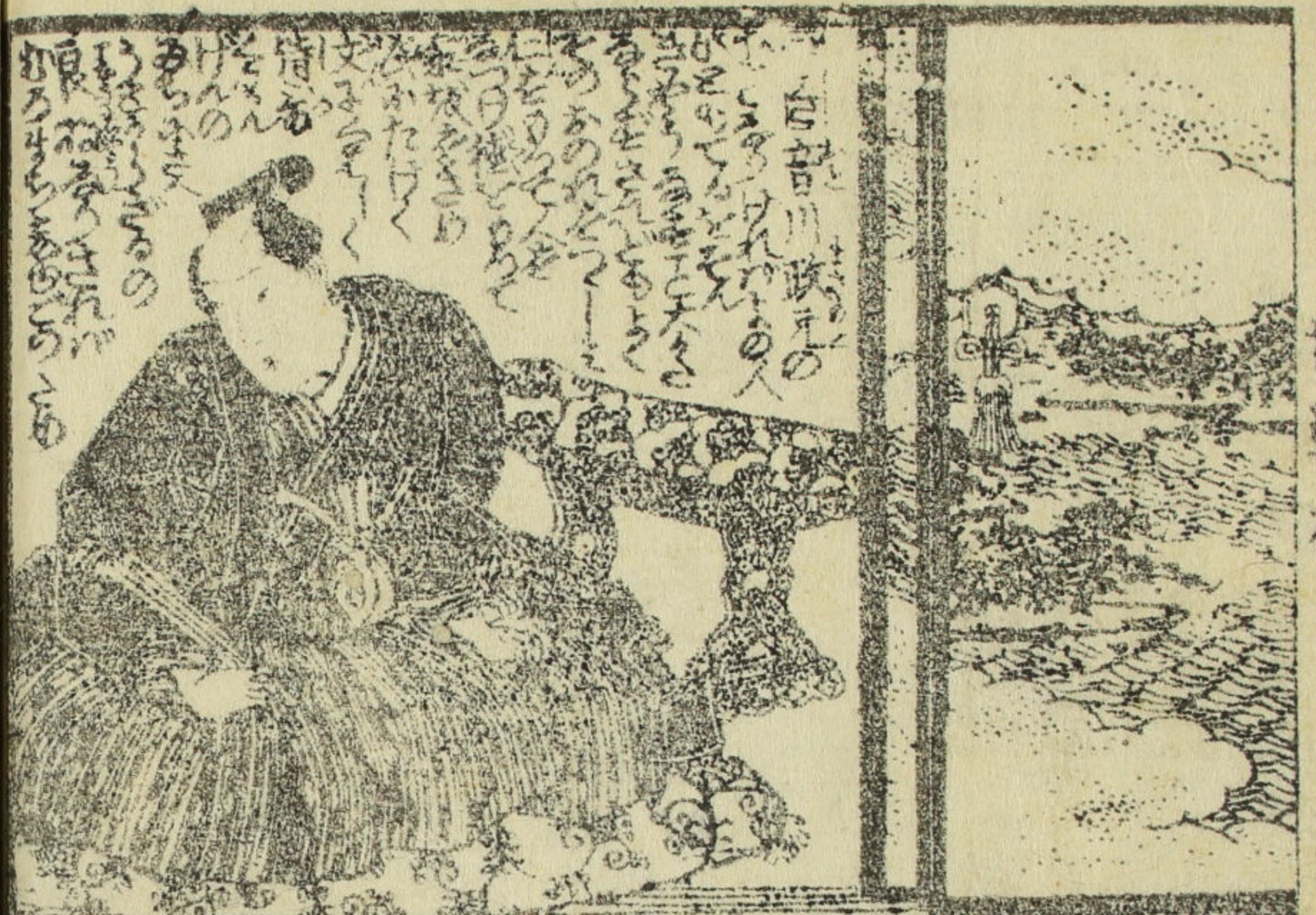
山  
 山  
 山  
 山  
 山

右の山は...  
 左の山は...  
 山  
 山  
 山

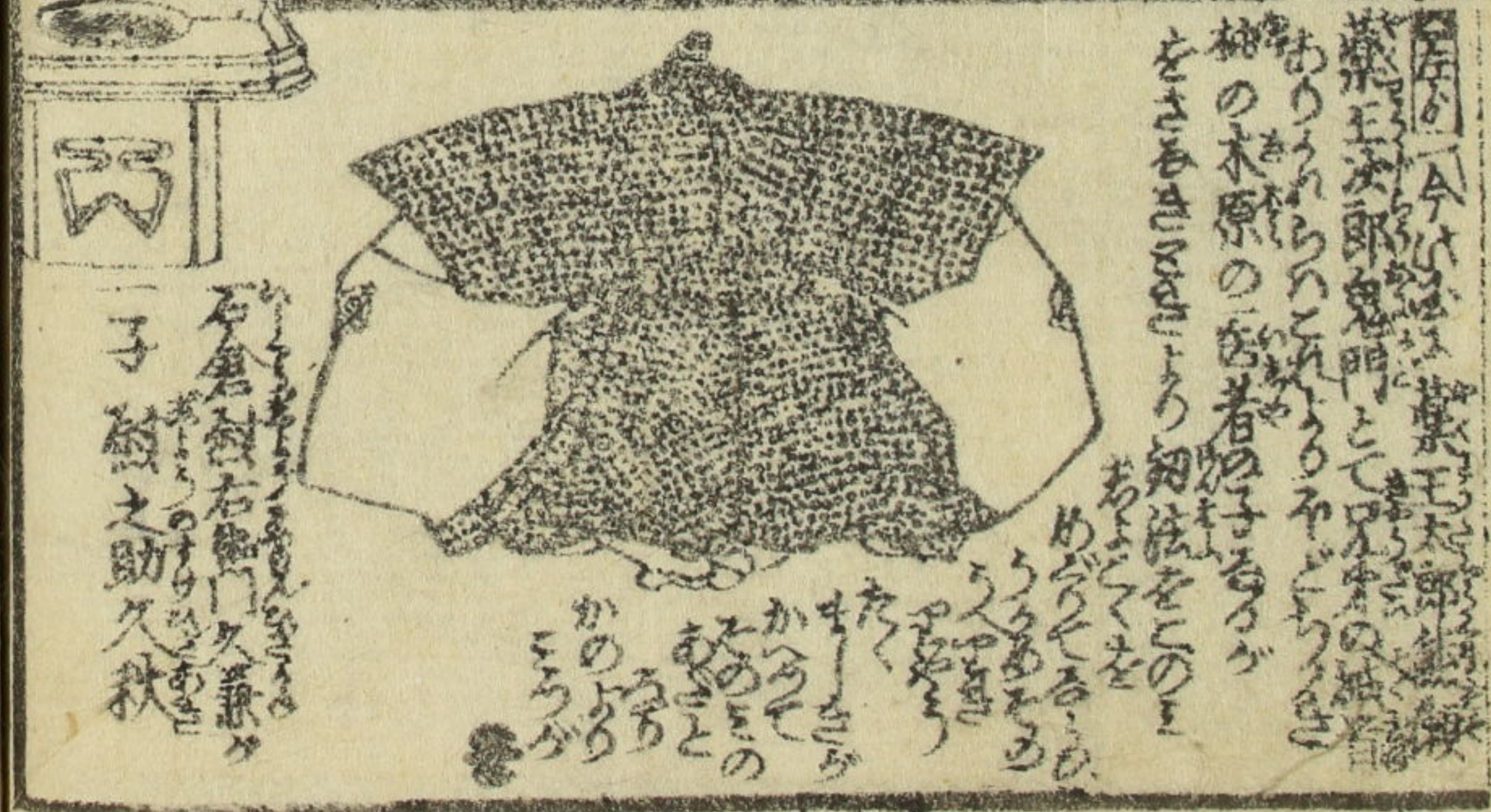
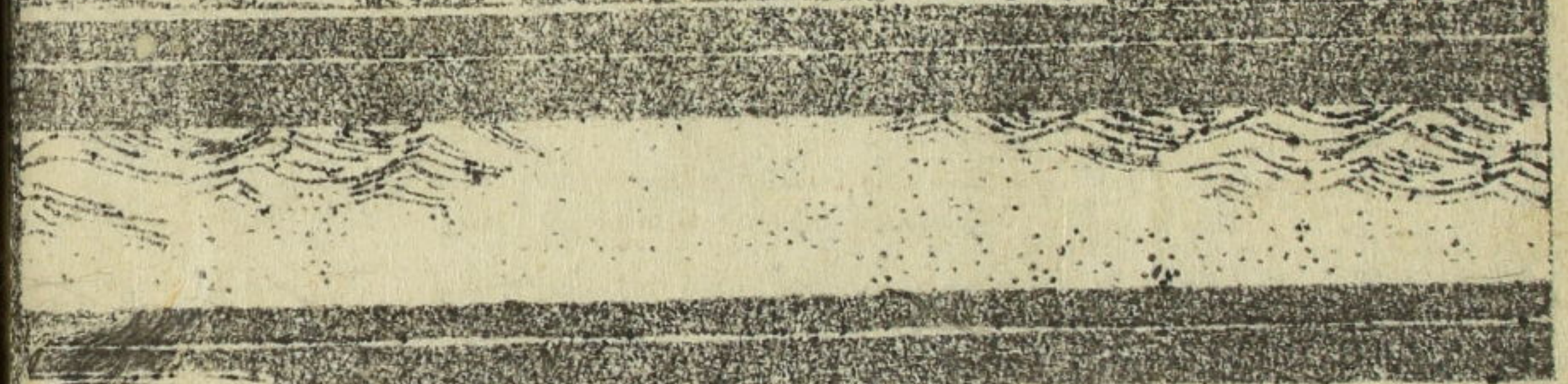


山  
 山  
 山  
 山  
 山

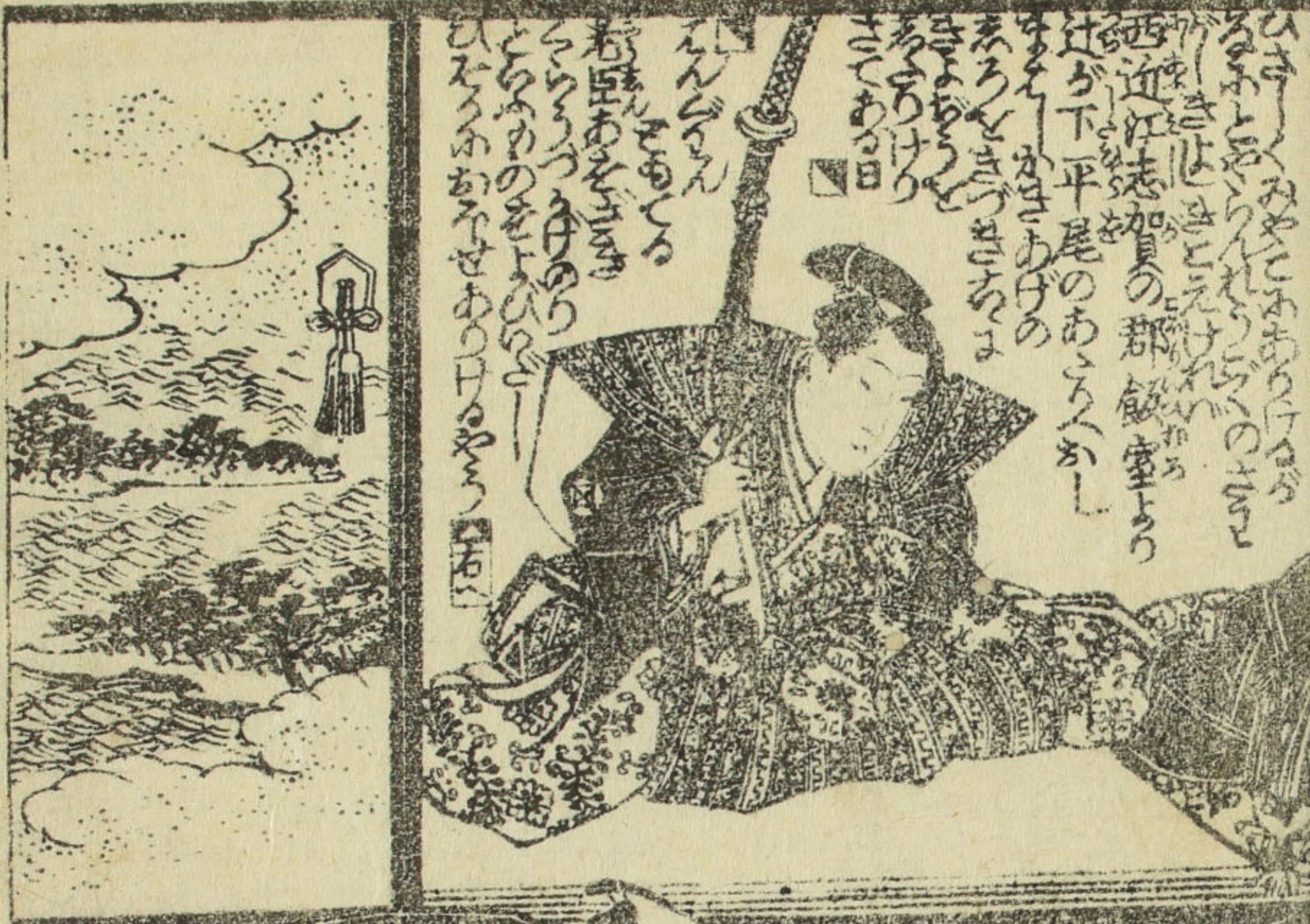




白音川... 西... 下平尾... 武... 景... 信... 一... 子... 樹... 之... 助... 久... 秋...



景... 信... 一... 子... 樹... 之... 助... 久... 秋... 武... 景... 信... 一... 子... 樹... 之... 助... 久... 秋...



西... 下平尾... 武... 景... 信... 一... 子... 樹... 之... 助... 久... 秋...



景... 信... 一... 子... 樹... 之... 助... 久... 秋... 武... 景... 信... 一... 子... 樹... 之... 助... 久... 秋...

今更に、是れが...  
うらな...  
あつめ...

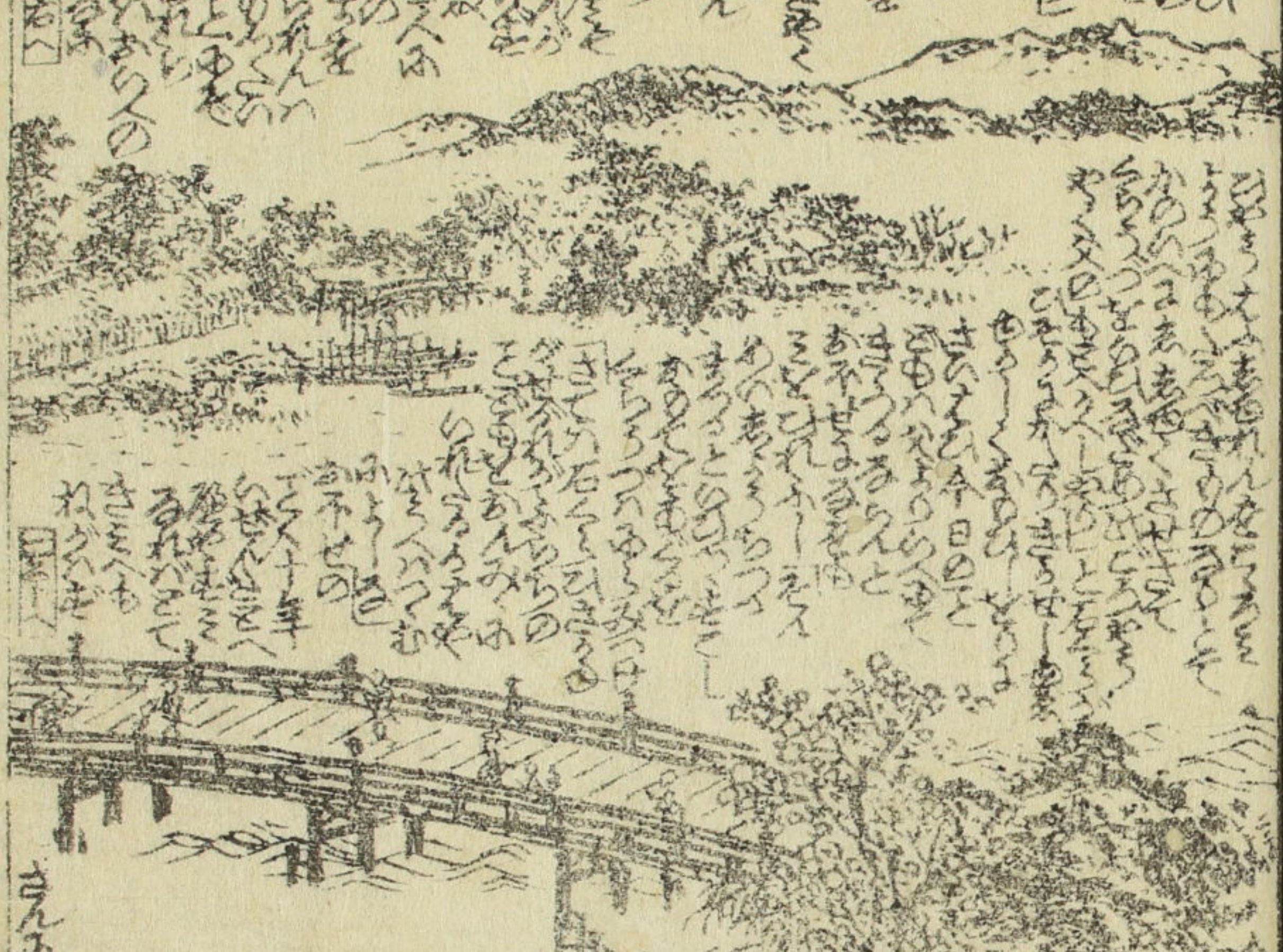
本年の...  
は、五月...  
あつめ...

は、五月...  
あつめ...  
あつめ...

今更に、是れが...  
うらな...  
あつめ...

本年の...  
は、五月...  
あつめ...

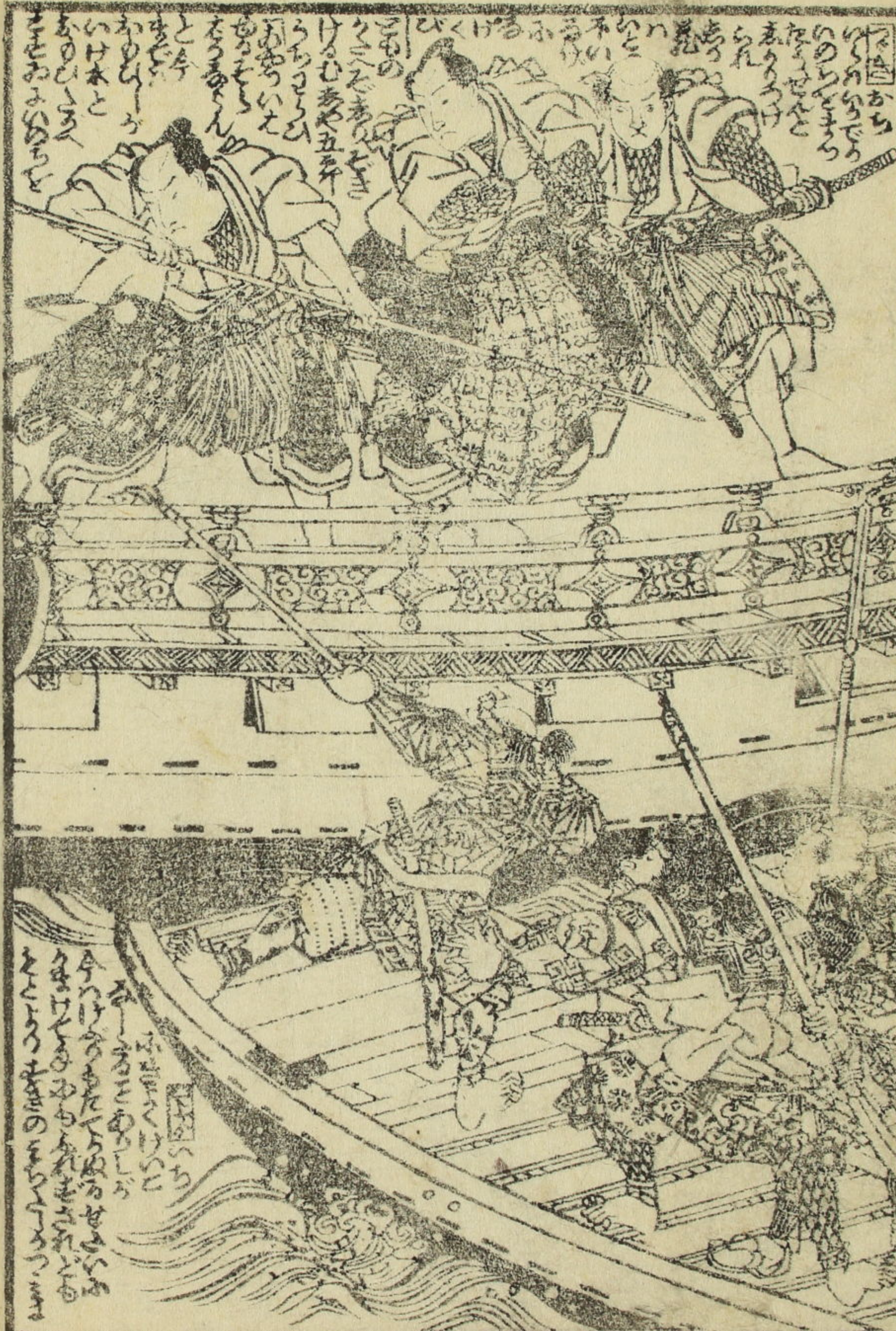
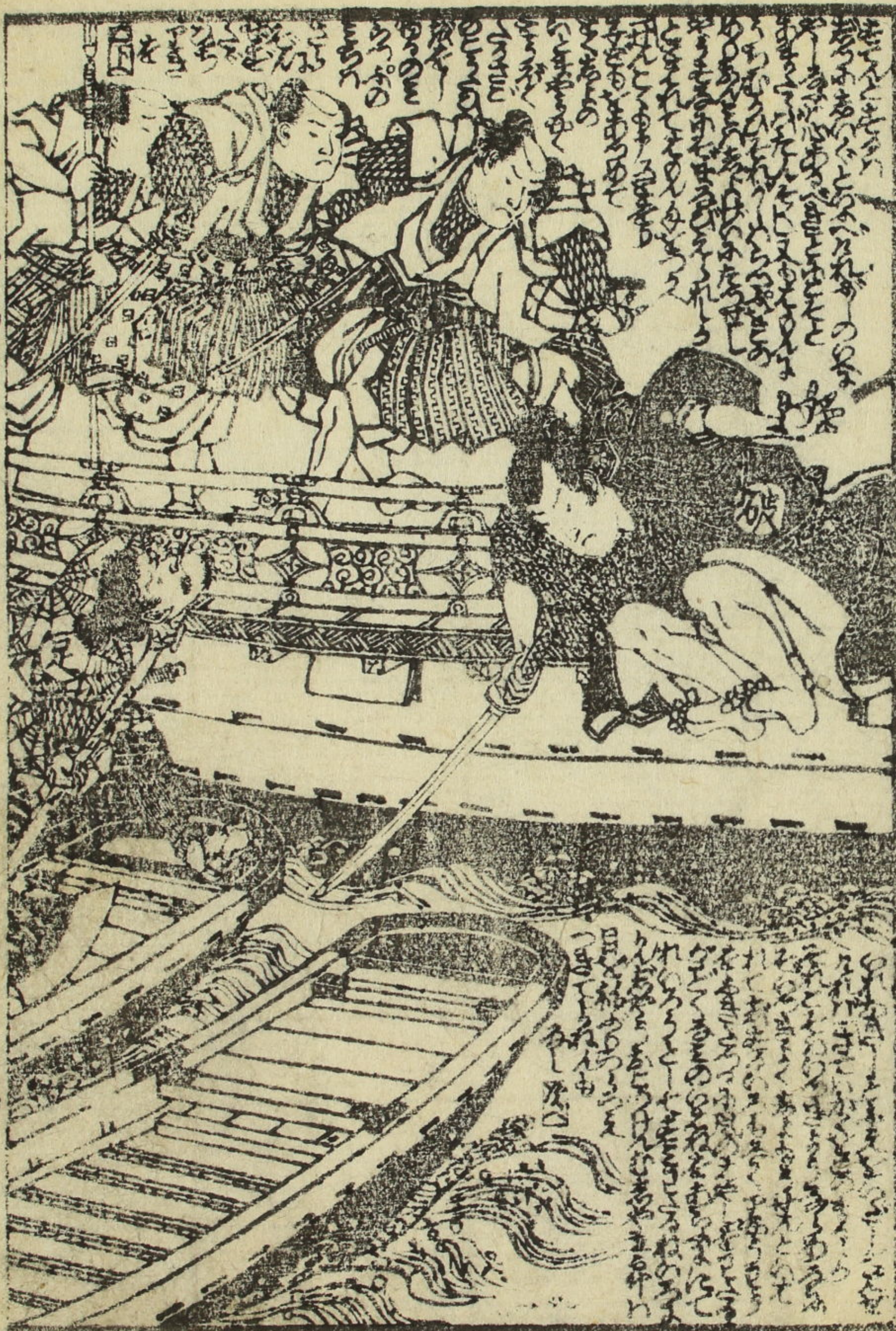
は、五月...  
あつめ...  
あつめ...





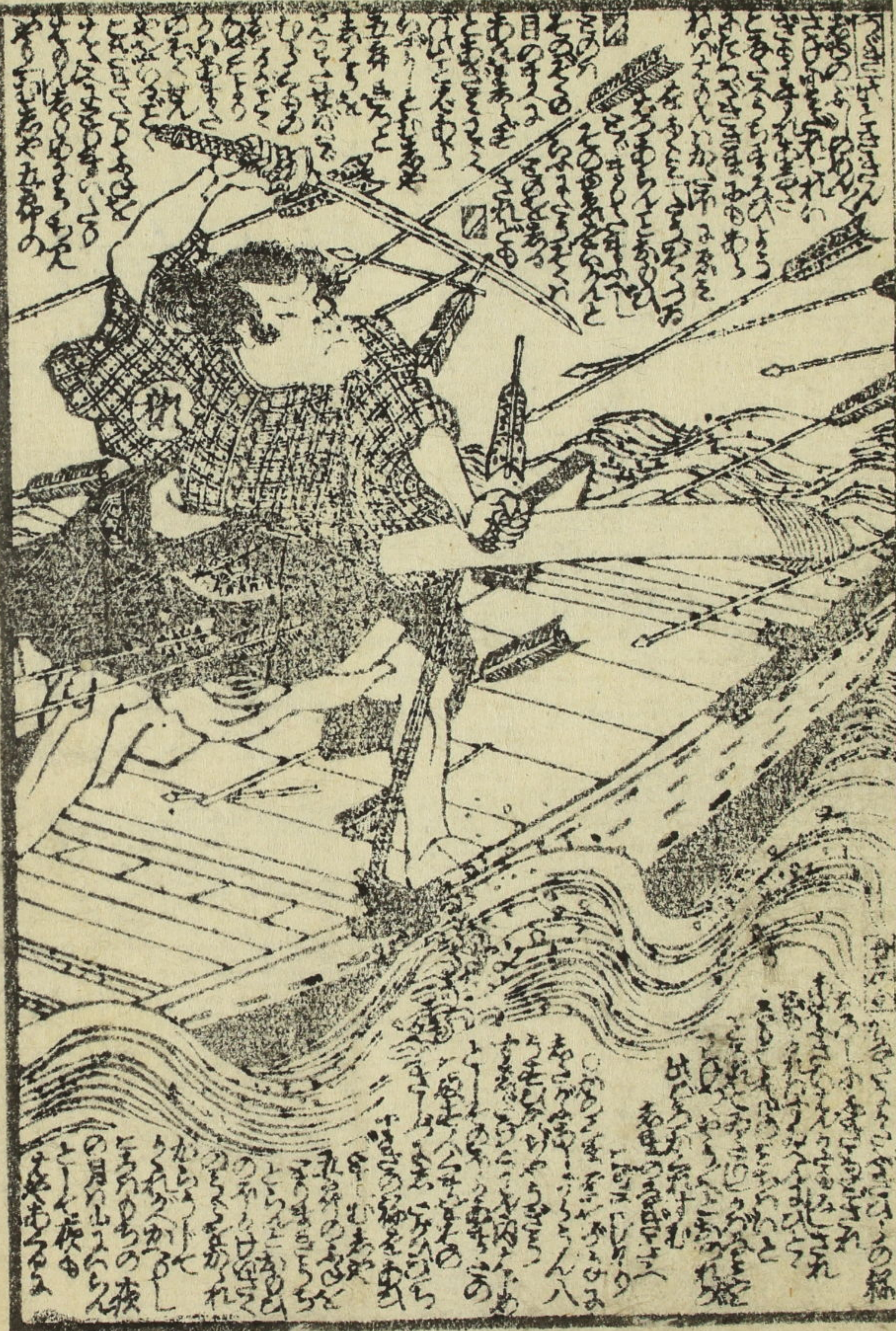






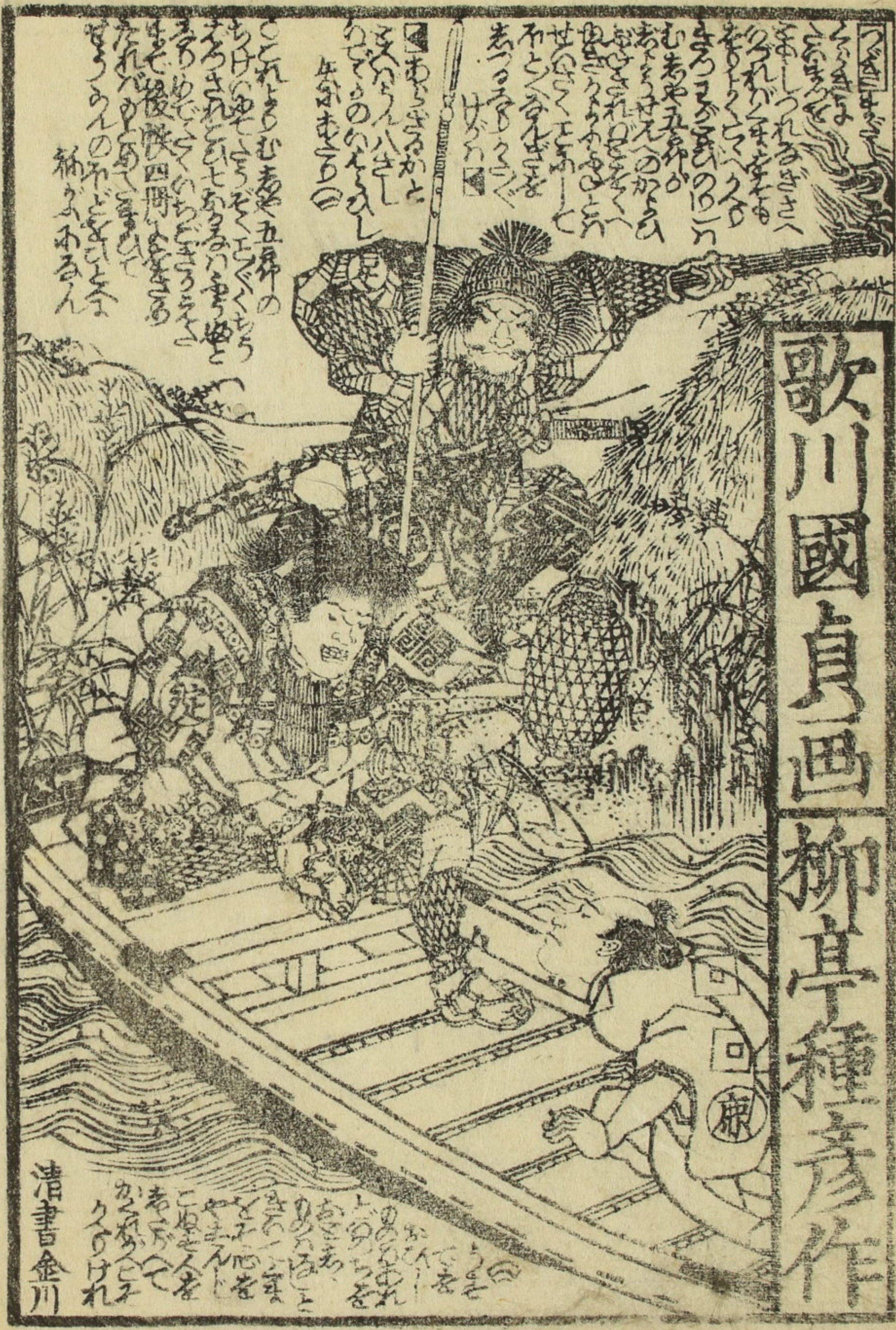


舟



舟

歌川國貞画 柳亭種彦作



嘉永三年  
新春刊行

邯鄲諸國物語遠江の巻

女柳亭先生舊案  
一陽齋豊國画

肝函遠行の後此草造紙書継々及びひあつて空しく五年おきには及版元ら  
ての和をとりあつてあつても後記ふかやびやの陣もこのころにありけり  
試つて國々一紙紙ハをさすかたははるりこれと物縁より色々しく  
あれはのよき首尾の分りあつて後物ごうとありゆまゝとて  
さすかたははるりて後記ふかやびやの陣もこのころにありけり

伊勢の巻 合本 袋

笠亭仙果

近江の巻 合本 二袋

附出羽の巻

大和の巻 合本 三袋

播磨の巻 合本 三袋

同攝津の巻

前後合本三袋 笠亭仙果作

芳町山本平吉版



